

中小企業景況調査報告書

2022年4月～6月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区 (室戸市 芸西 香南市 香美市 春野
佐川町 越知町 中土佐町 四万十町 黒潮町)

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 150企業 (回答率：100%)

2. 調査対象期間

2022年4月～6月期を対象とし、調査時点は2022年6月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	31	20.7
建 設 業	23	15.3
小 売 業	43	28.7
サービス業	53	35.3
合 計	150	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2022年 4月～ 6月期）の状況

[製造業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	0.0	0.0	±0.0ポイント
採 算	△ 29.0	△ 25.8	3.2ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 6.6	△ 9.7	3.1ポイント下降

[建設業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 45.4	△ 17.4	28.0ポイント上昇
採 算	△ 47.8	△ 43.5	4.3ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 8.7	△ 8.7	±0.0ポイント

[小売業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 20.9	0.0	20.9ポイント上昇
採 算	△ 32.6	△ 34.1	1.5ポイント下降
資 金 繰 り	△ 25.6	△ 13.7	11.9ポイント上昇

[サービス業]

(D I 値)

期 項目	2022年 1月～ 3月	2022年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 43.1	1.9	45.0ポイント上昇
採 算	△ 46.0	△ 27.4	18.6ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 24.0	△ 5.8	18.2ポイント上昇

○来期見通し(2022年 7月～ 9月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	6.4	△ 16.1	3.4
建 設 業	△ 34.8	△ 39.2	△ 4.3
小 売 業	△ 13.6	△ 32.6	△ 18.2
サ ー ビ ス 業	19.2	△ 25.5	△ 1.9

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

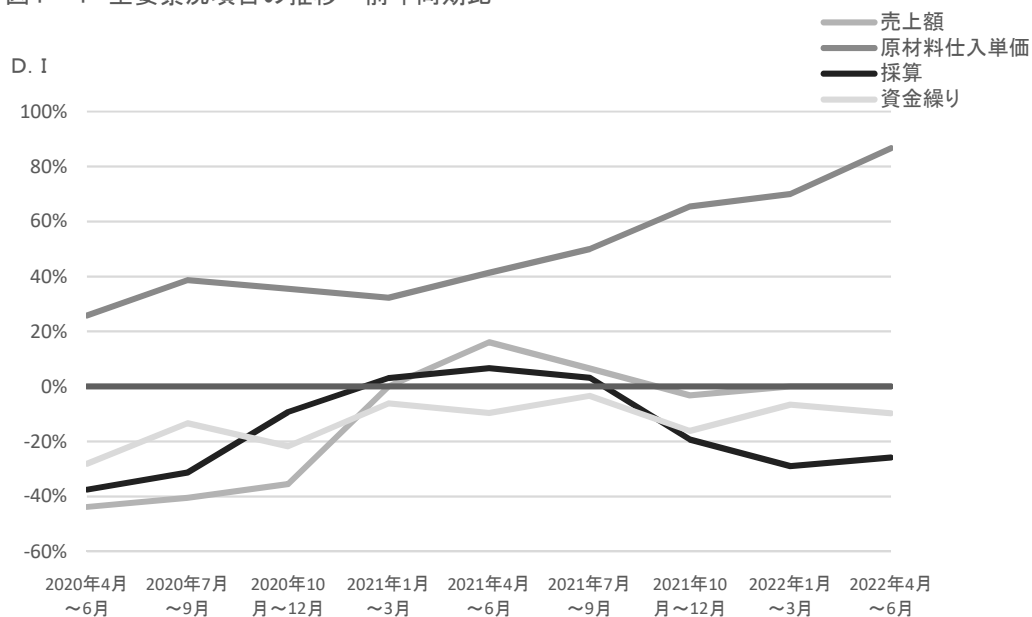
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、0.0→0.0と±0.0ポイント
(同全国値は、△15.5→△3.2と12.3ポイント上昇)
- ・採算DI値は、△29.0→△25.8と3.2ポイント上昇
(同全国値は、△30.5→△25.6と4.9ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、△6.6→△9.7と3.1ポイント下降
(同全国値は、△18.8→△12.9と5.9ポイント上昇)

今期は、売上額DIは変動がなく、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIはマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIと資金繰りDIがプラスに好転し、採算DIでマイナスの改善が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目	期				
	2021年4月~6月	2021年7月~9月	2021年10月~12月	2022年1月~3月	2022年4月~6月
売上額	16.1	6.5	△3.2	0.0	0.0
原材料仕入単価	41.4	50.0	65.5	70.0	86.7
採算	6.7	3.2	△19.3	△29.0	△25.8
資金繰り	△9.6	△3.4	△16.1	△6.6	△9.7

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

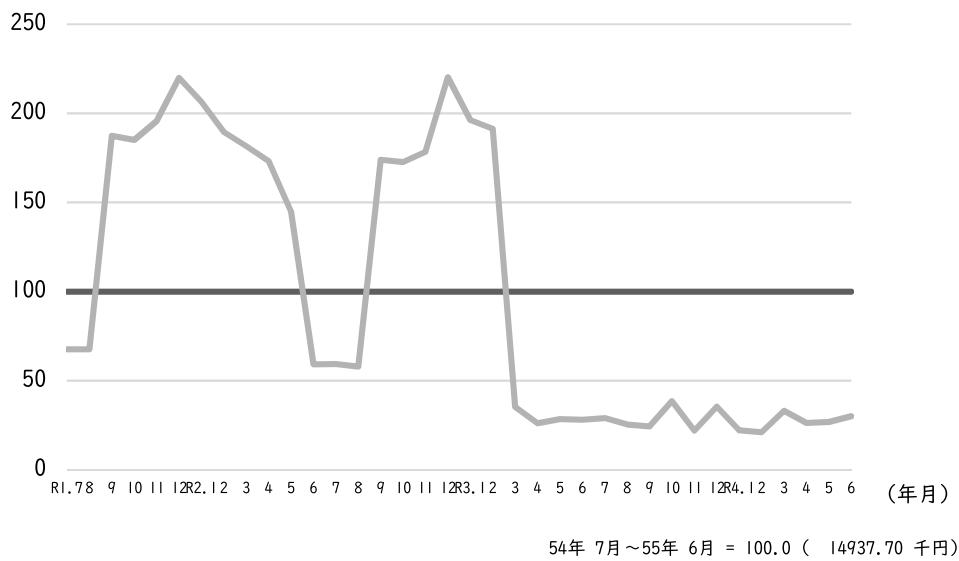


図 1 - 3 売上額の状況 - 前年同期比 -

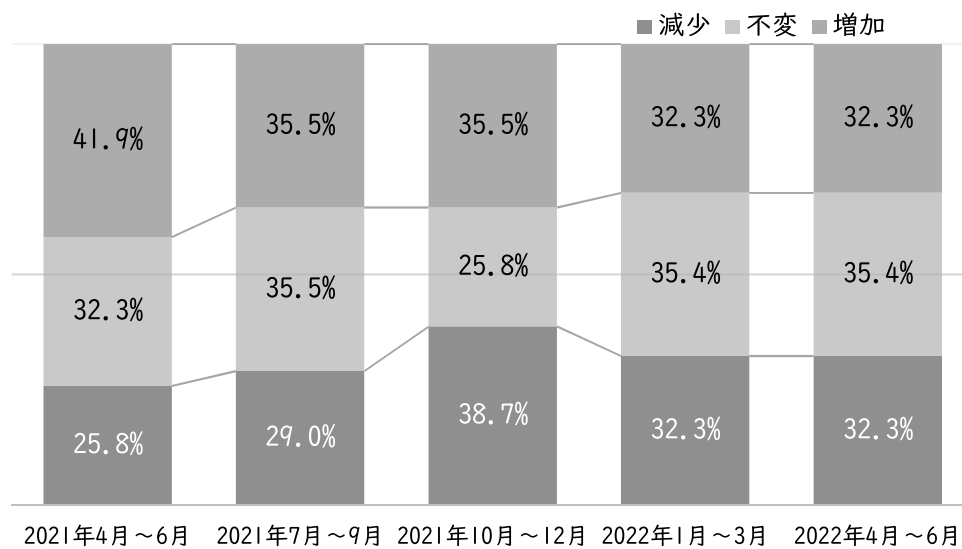


図 1 - 4 採算の状況 - 前年同期比 -

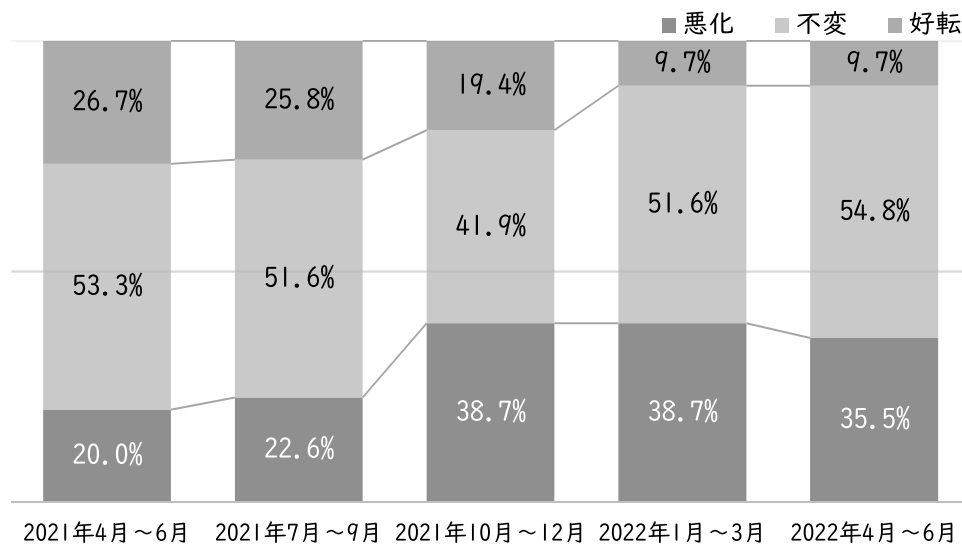
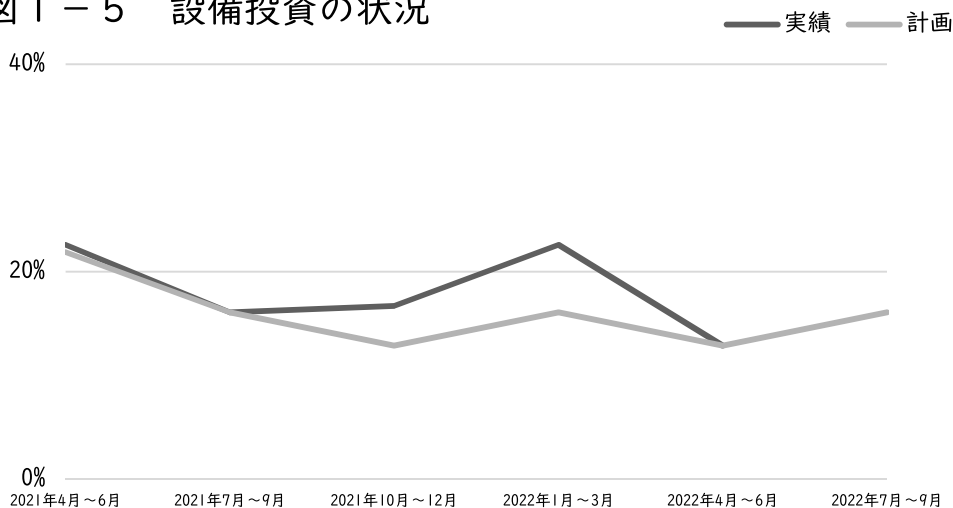


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

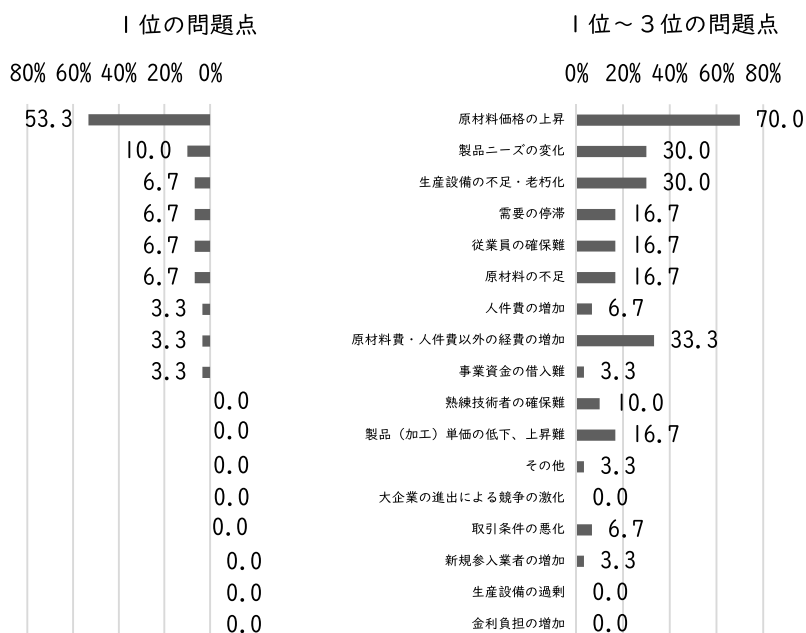


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

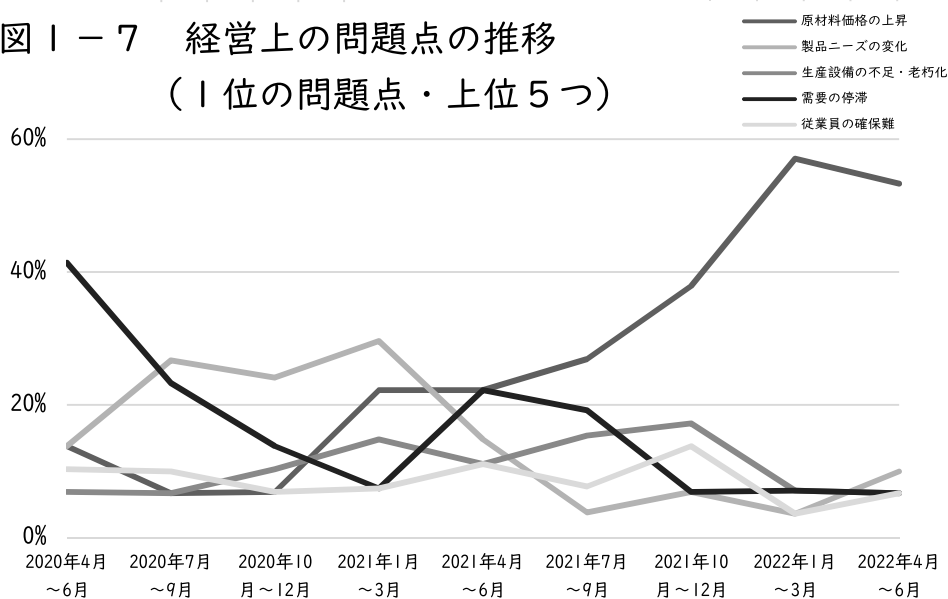


図1-8 売上額の状況－前年同期比－

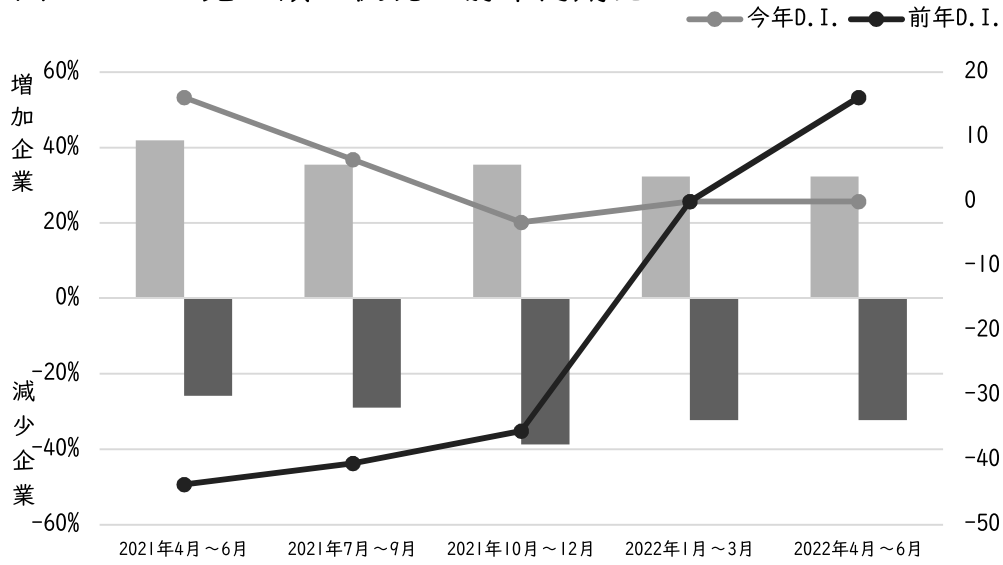
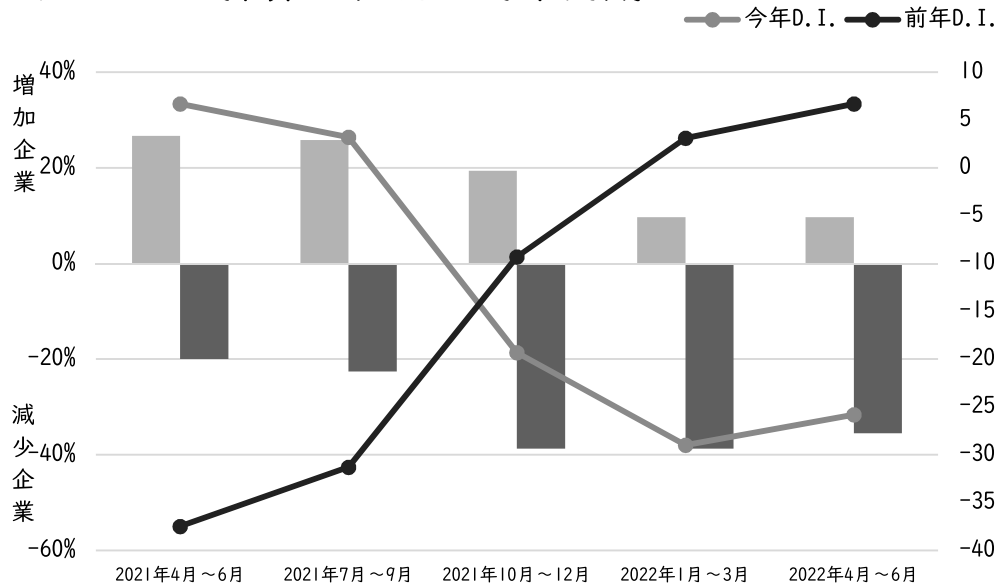


図1-9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

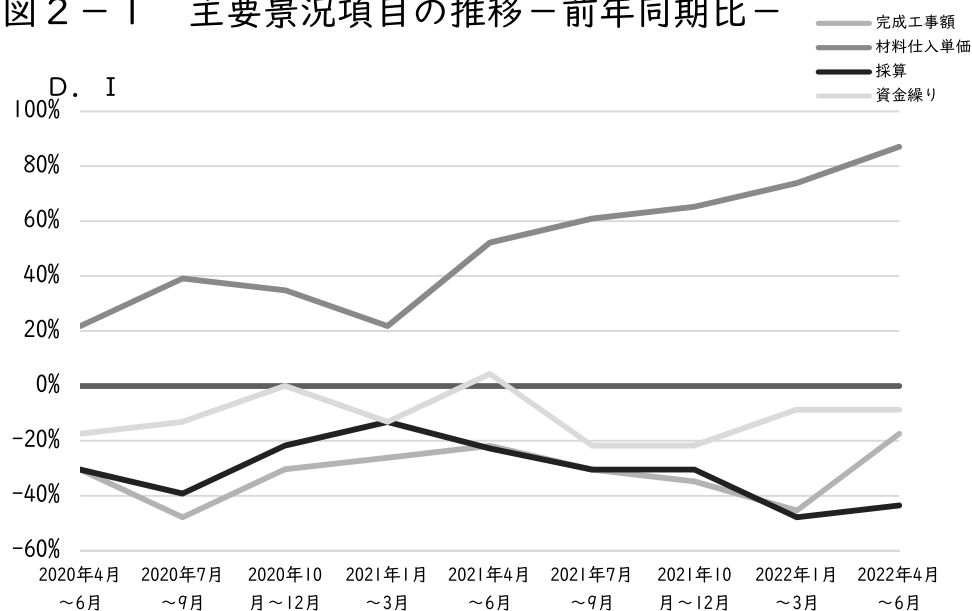
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、 $\Delta 45.4 \rightarrow \Delta 17.4$ と28.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 22.6 \rightarrow \Delta 19.0$ と3.6ポイント上昇)
- ・ 採算DI値は、 $\Delta 47.8 \rightarrow \Delta 43.5$ と4.3ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 33.5 \rightarrow \Delta 35.9$ と2.4ポイント下降)
- ・ 資金繰りDI値は、 $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 8.7$ と ± 0.0 ポイント
(同全国値は、 $\Delta 12.3 \rightarrow \Delta 12.6$ と0.3ポイント下降)

今期は、完成工事額DI・採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIは変動がなかった。

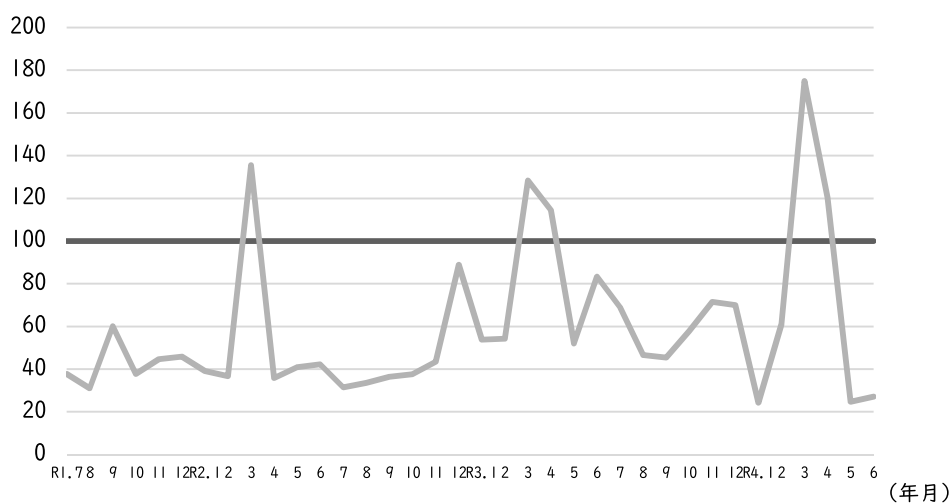
来期は、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善し、完成工事額DIでマイナスの拡大が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額		$\Delta 21.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 34.8$	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$
原材料仕入単価		52.2	60.9	65.2	73.9	87.0
採算		$\Delta 22.8$	$\Delta 30.5$	$\Delta 30.5$	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$
資金繰り		4.4	$\Delta 21.7$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

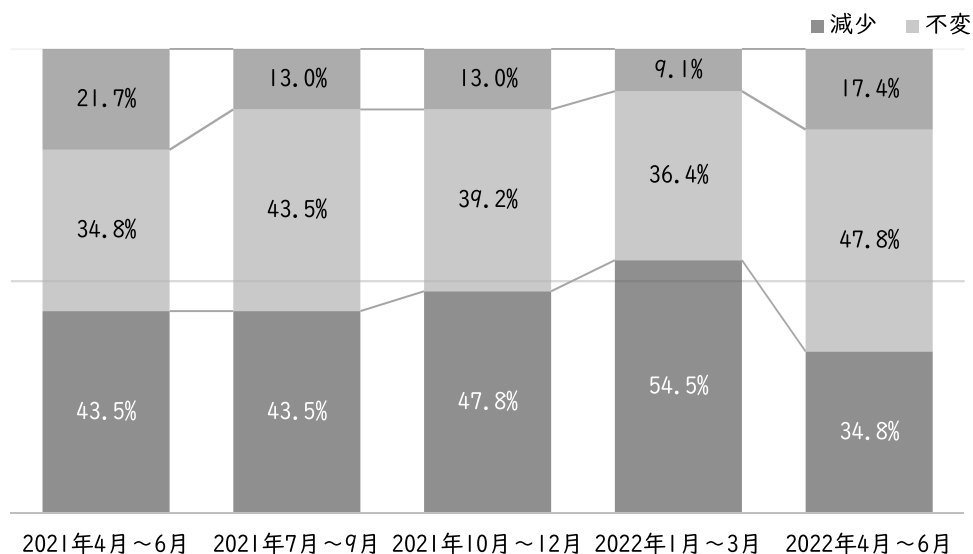


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

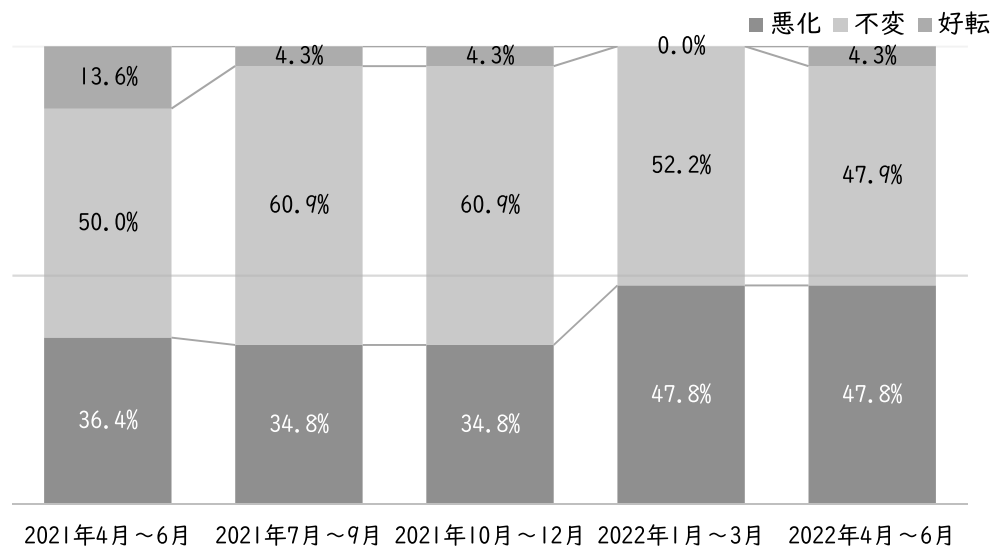


図 2 - 5 設備投資の状況

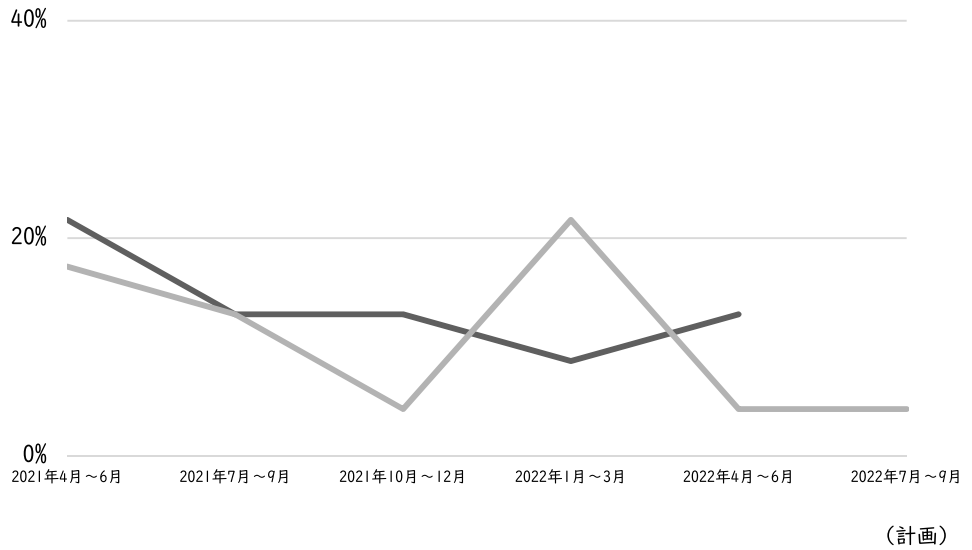


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

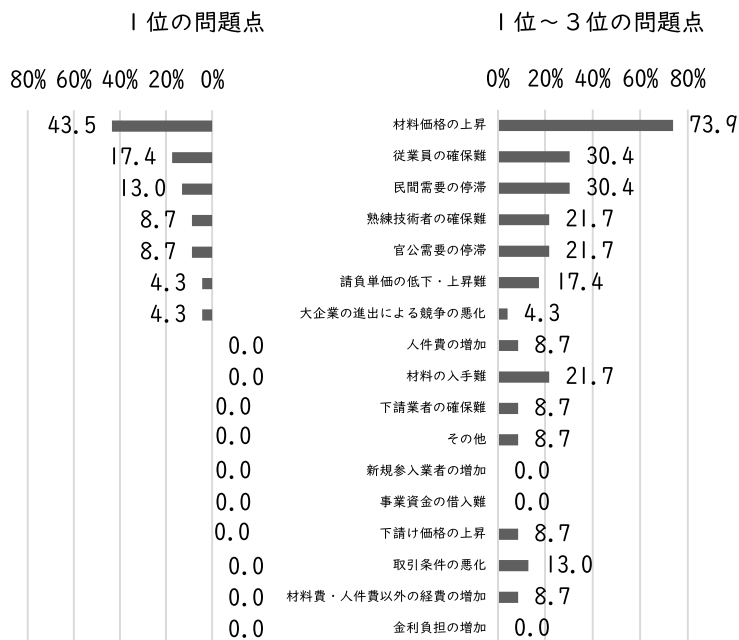


図 2 - 7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

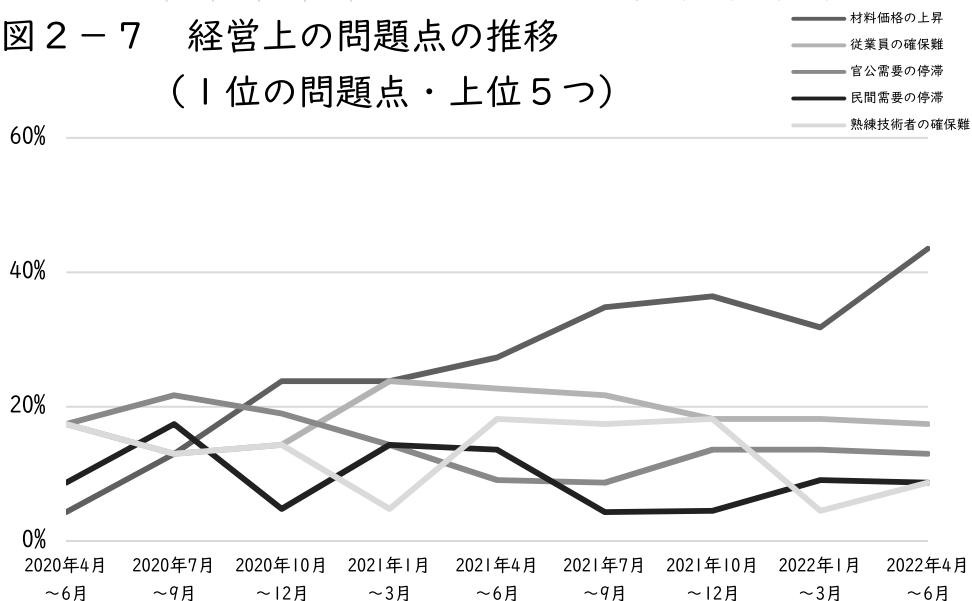


図 2 - 8 完成工事額の状況 - 前年同期比 -

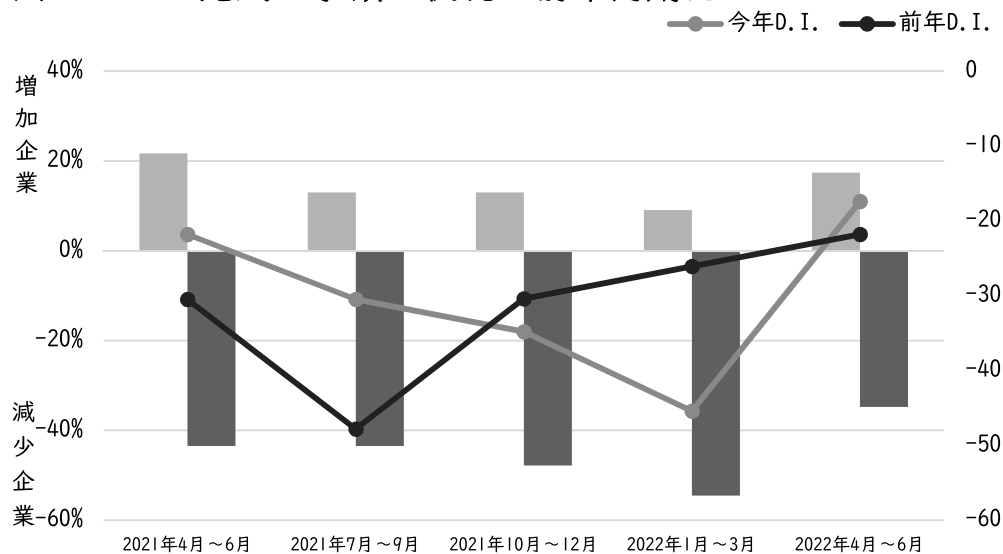
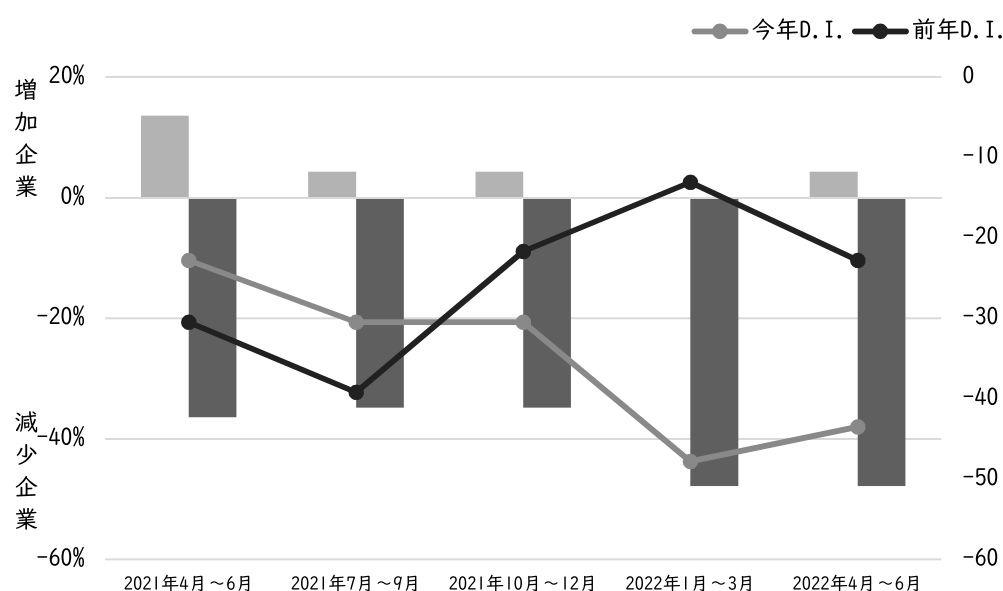


図 2 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



小売業の動向

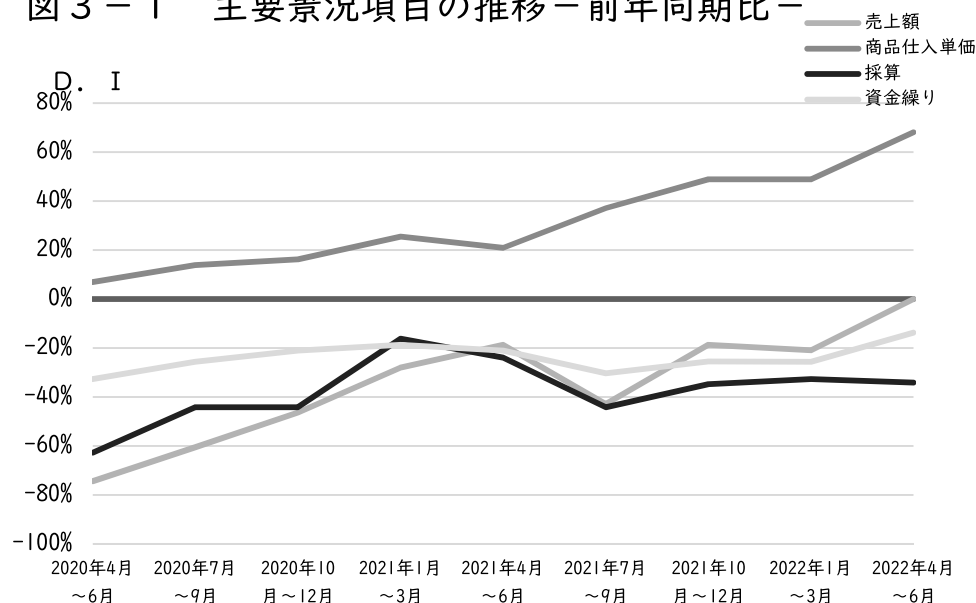
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 20.9 \rightarrow 0.0$ と20.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 38.8 \rightarrow \Delta 20.2$ と18.6ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 32.6 \rightarrow \Delta 34.1$ と1.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 49.0 \rightarrow \Delta 40.0$ と9.0ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 25.6 \rightarrow \Delta 13.7$ と11.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 29.6 \rightarrow \Delta 24.3$ と5.3ポイント上昇)

今期は、売上額DI・資金繰りDIでマイナス幅が改善し、採算DIはマイナス幅が拡大した。

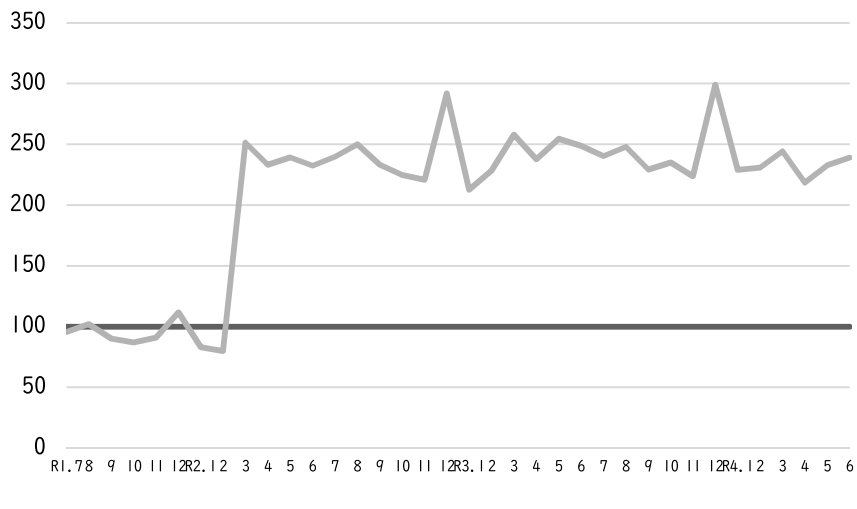
来期は、売上額DIがマイナスに転じ、採算DIでマイナス幅が改善し、資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目	期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額		$\Delta 18.6$	$\Delta 42.9$	$\Delta 18.6$	$\Delta 20.9$	0.0
原材料仕入単価		20.9	37.2	48.9	48.9	68.2
採算		$\Delta 23.9$	$\Delta 44.2$	$\Delta 34.8$	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$
資金繰り		$\Delta 21.0$	$\Delta 30.3$	$\Delta 25.5$	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$

図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

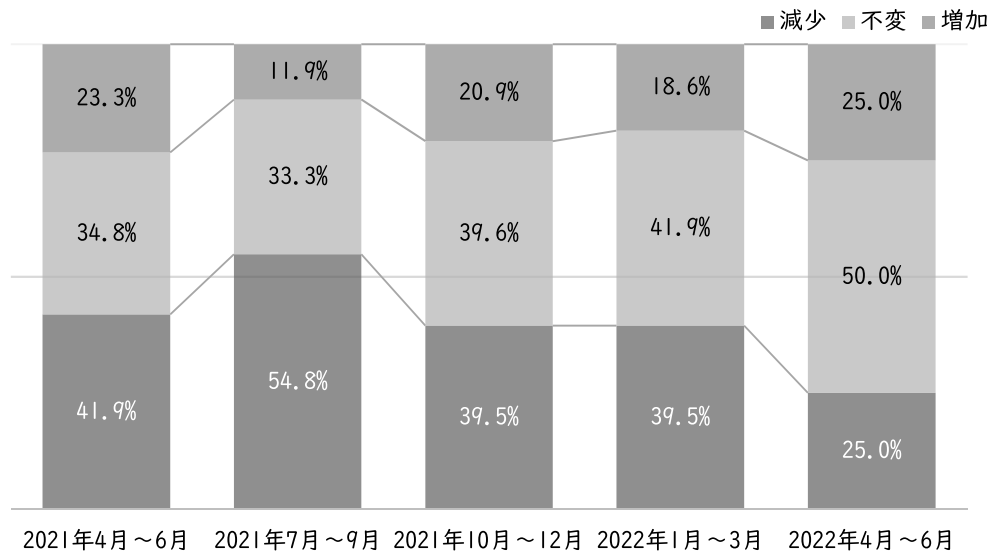


図3-4 採算の状況－前年同期比－

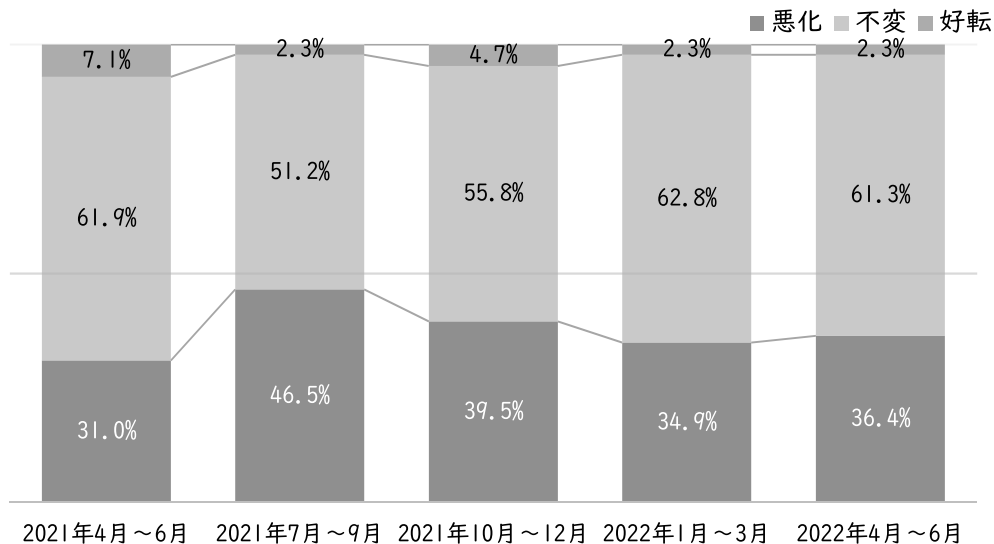


図3-5 設備投資の状況

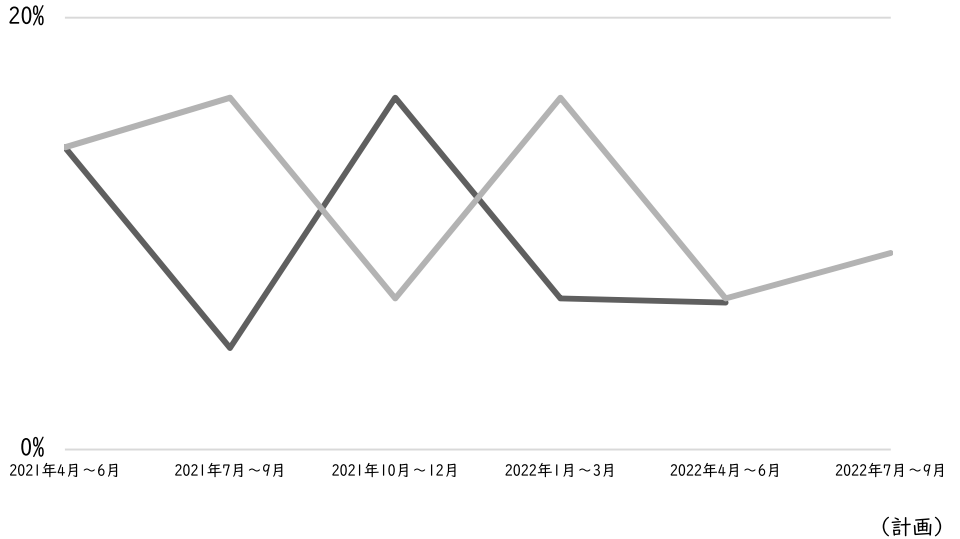


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

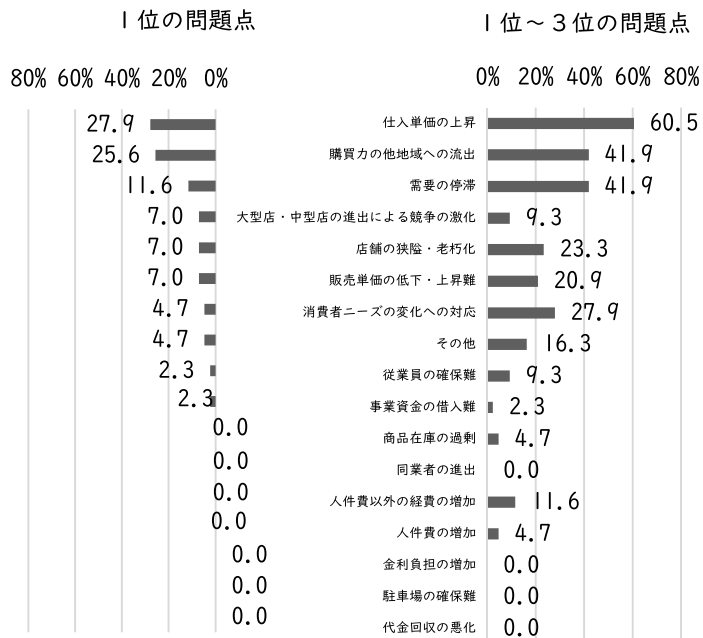


図3-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

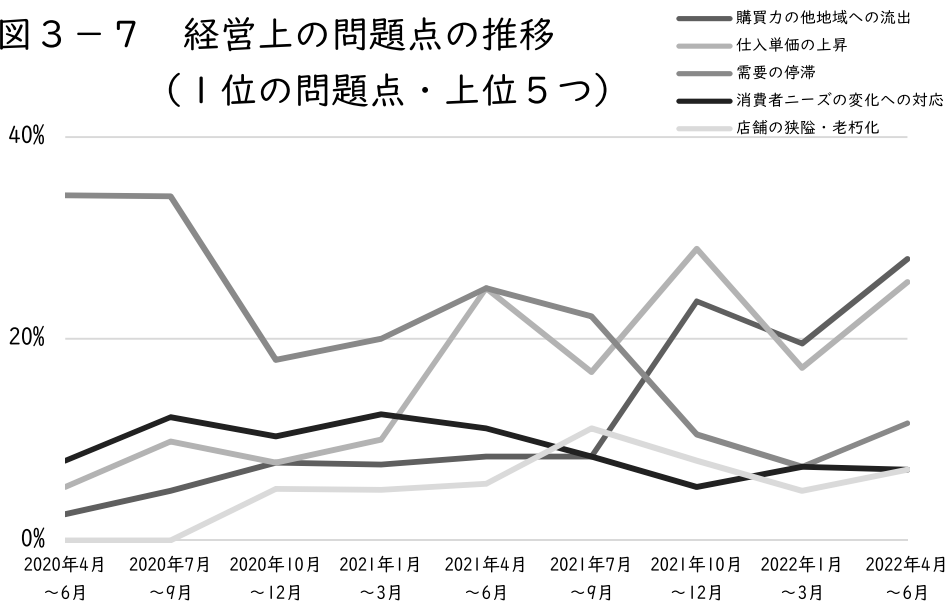


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

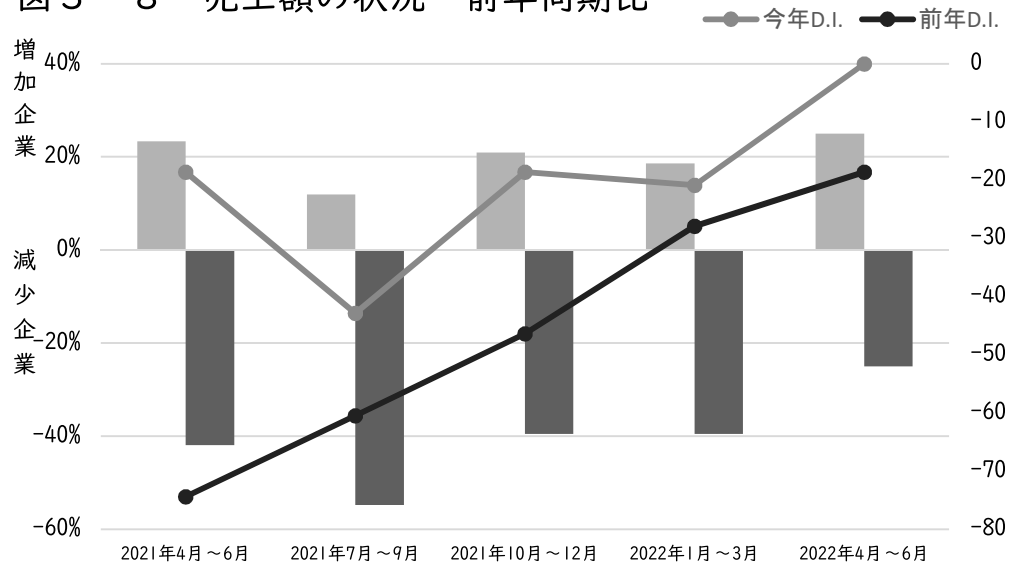
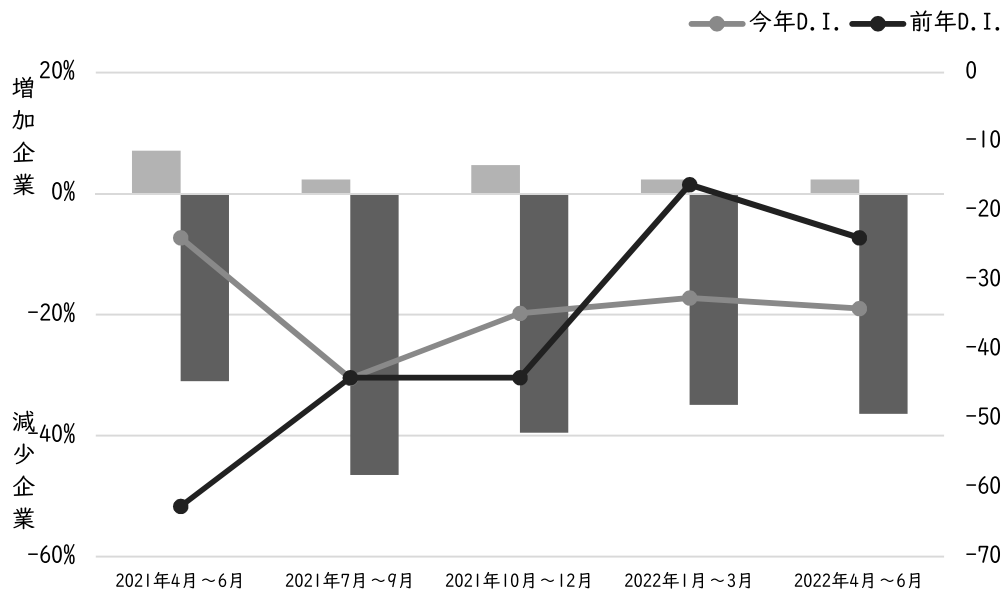


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

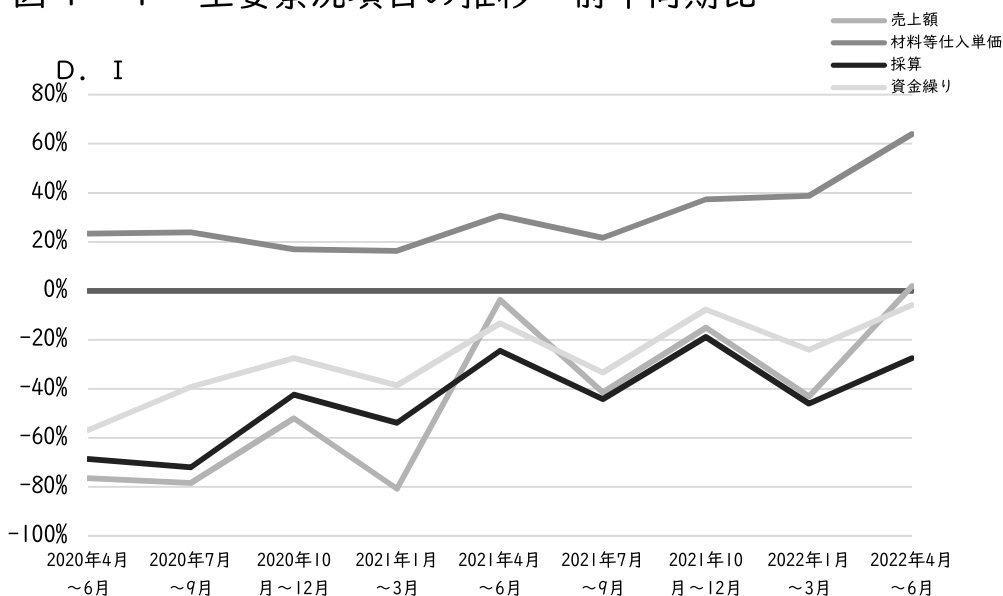
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 43.1 \rightarrow 1.9$ と45.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 46.0 \rightarrow \Delta 6.0$ と40.0ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 46.0 \rightarrow \Delta 27.4$ と18.6ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 49.8 \rightarrow \Delta 32.2$ と17.6ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 24.0 \rightarrow \Delta 5.8$ と18.2ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 32.2 \rightarrow \Delta 15.2$ と17.0ポイント上昇)

今期は、売上額DIがプラスに好転し、採算DI・資金繰りDIはマイナス幅が改善した。

来期は、売上額DIでプラス幅が拡大し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の改善が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2021年4月～6月	2021年7月～9月	2021年10月～12月	2022年1月～3月	2022年4月～6月
売上額	$\Delta 3.7$	$\Delta 41.5$	$\Delta 15.1$	$\Delta 43.1$	1.9
原材料仕入単価	30.7	21.6	37.3	38.8	64.0
採算	$\Delta 24.5$	$\Delta 44.2$	$\Delta 18.9$	$\Delta 46.0$	$\Delta 27.4$
資金繰り	$\Delta 13.2$	$\Delta 33.3$	$\Delta 7.6$	$\Delta 24.0$	$\Delta 5.8$

図4-2 売上額推移（月別指数）

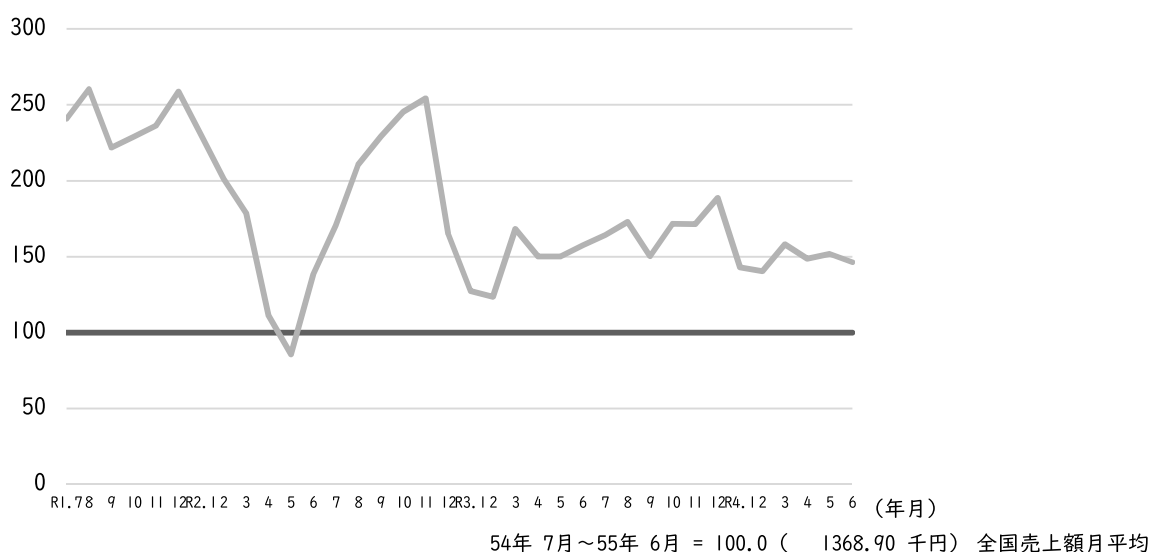


図4-3 売上額の状況－前年同期比－

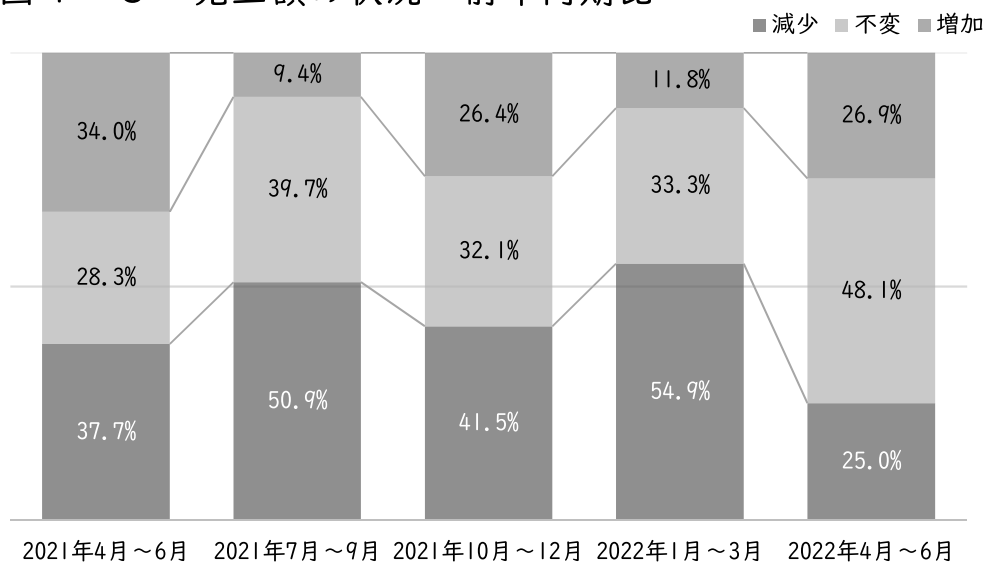


図4-4 採算の状況－前年同期比－

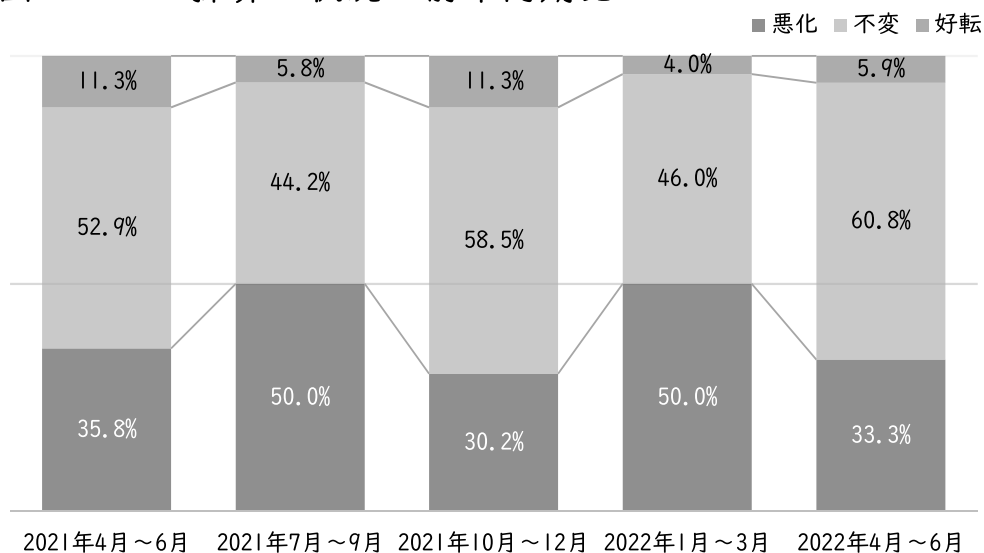


図4-5 設備投資の状況

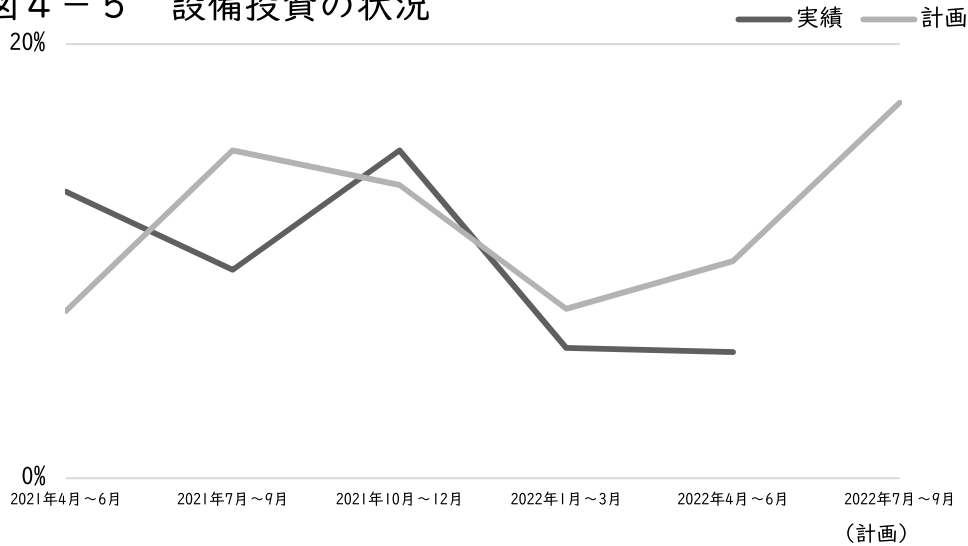


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

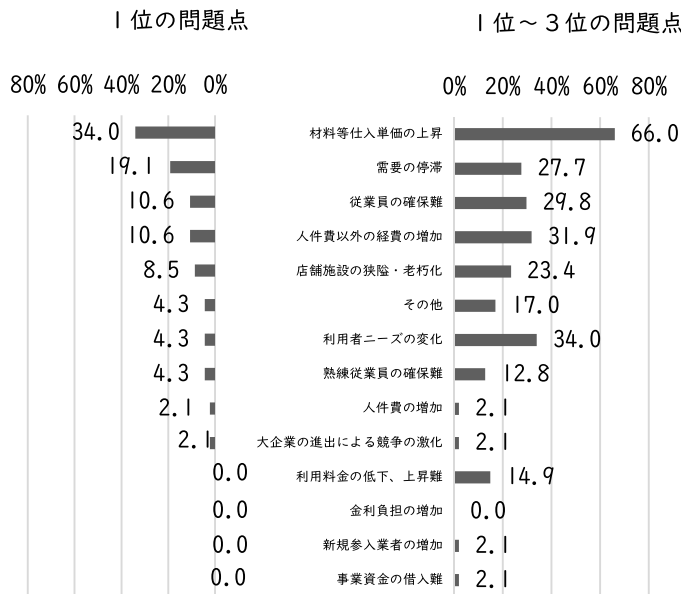


図4-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

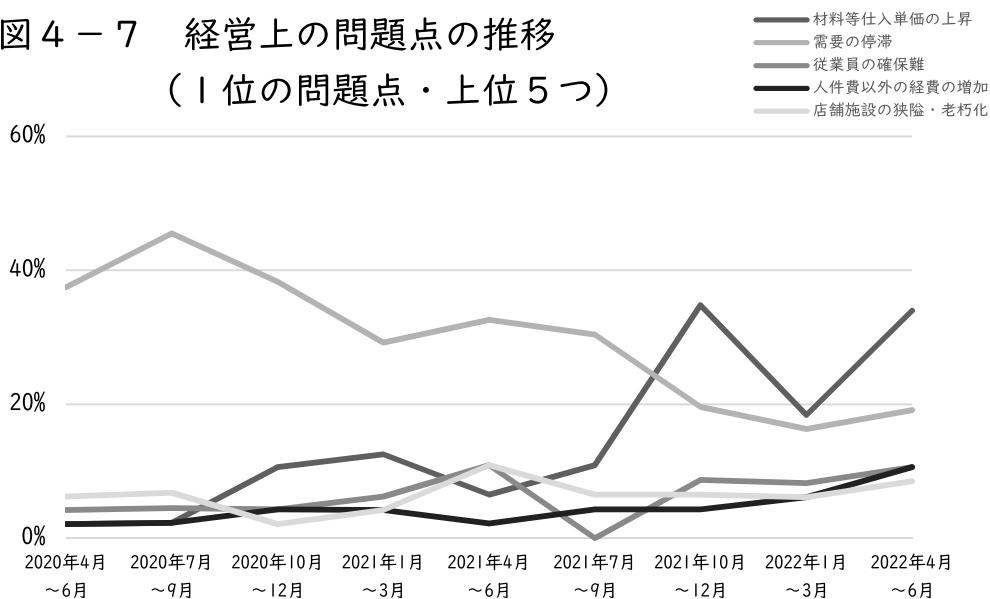


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

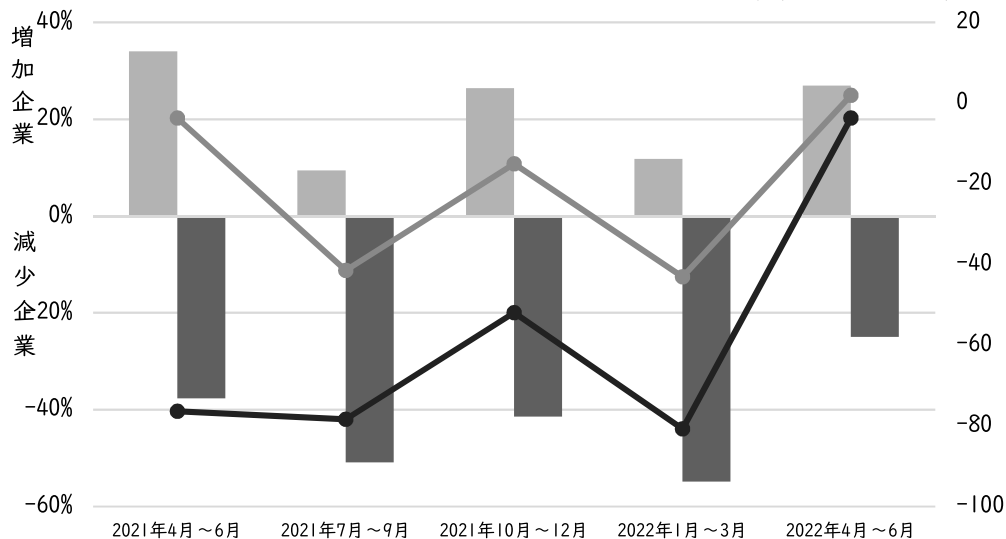
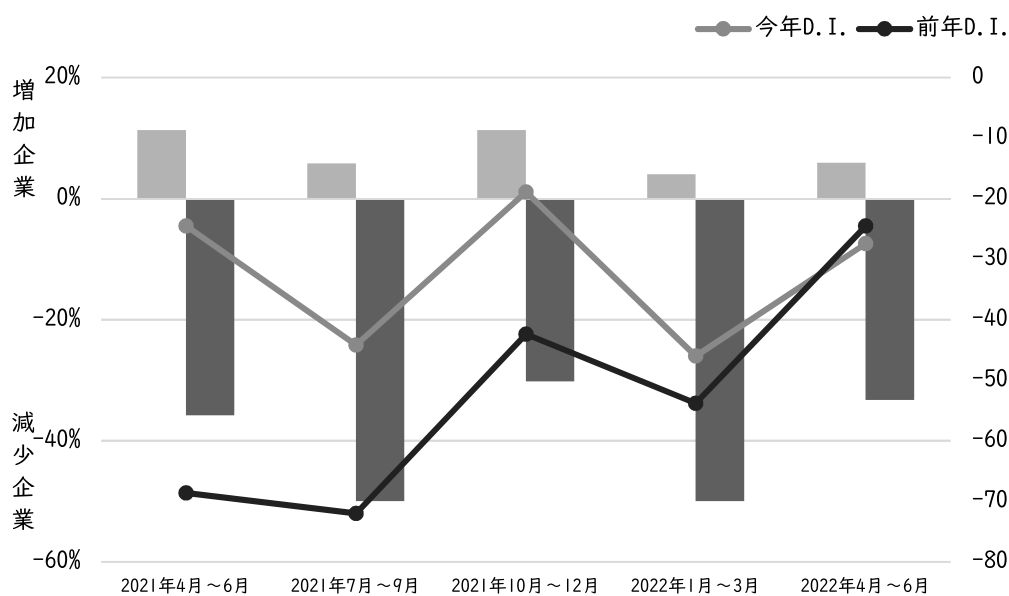
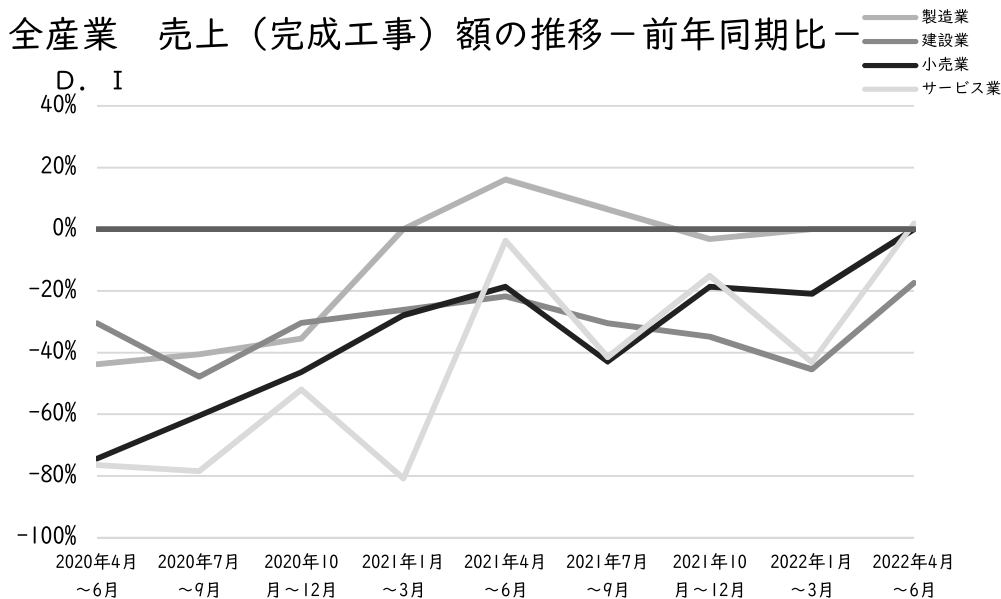


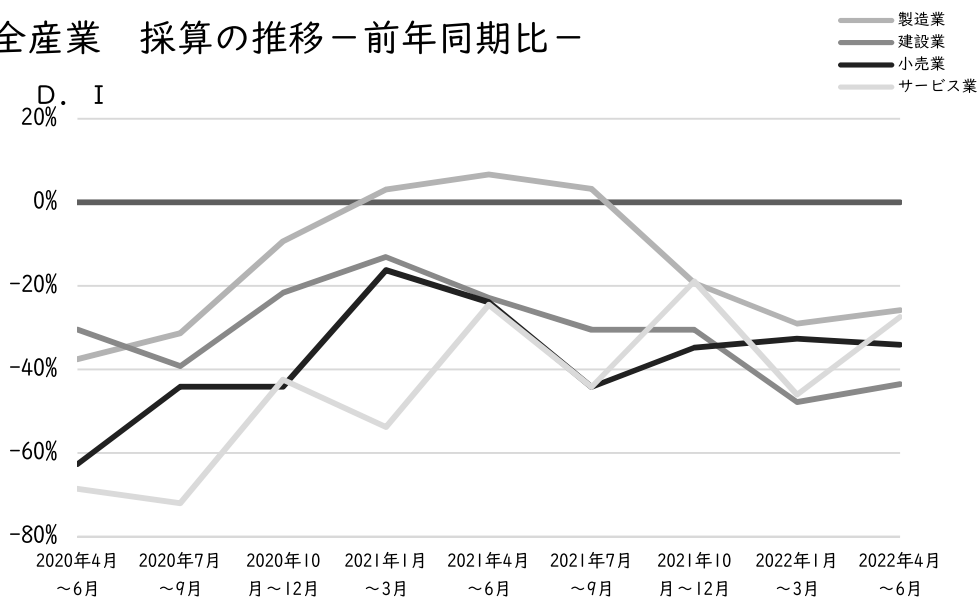
図4-9 採算の状況－前年同期比－



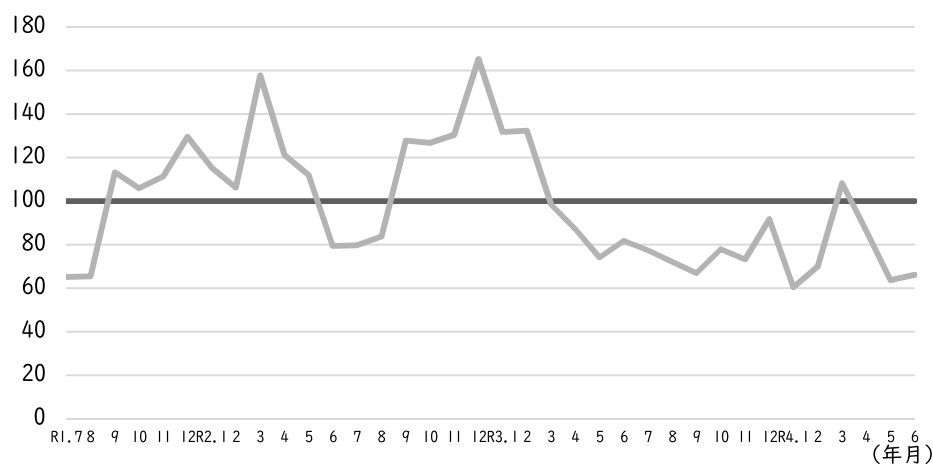
全産業の動向



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均